

千葉大学教育学部の源は、明治5（1872）年の印旛官員共立学舎開設まで遡ります。そこから150年を迎える令和4（2022）年に向けて、千葉大学教育学部創立150周年記念事業会が活動しています。この事業の一環として、平成30年から記念誌同窓会編の編纂を始めています。昭和56年に「教育学部百年史」が発行されているので、内容は主にその後の50年を中心に進めています。

また編纂途上ですので変更になる箇所も出てくると思いますが、その一部を抜粋してご紹介します。

なお、この記念誌は千葉大学教育学部創立150周年記念事業に対して4万円以上のご寄附をいただいた方にはお礼としてお届けします。別途、頒布の方法については後日ご案内いたします。

## I 内容

- ☆ 表紙 教育学部1号館前庭
- ☆ 写真 印旛官員学舎の碑、現在の大学・教育学部
- ☆ あいさつ 同窓会会長、教育学部長
- ☆ 所感 同窓会会長経験者等、事務局長経験者、同窓会報編集長
- ☆ 教育学部で学んで：卒業年、地域を考慮した44名の卒業生から
- ☆ 教育学部の歩みと同窓会活動
- ☆ 同窓会報の歩み
- ☆ 六百年会の歩み：男子師範学校卒業生
- ☆ 地方支部活動の紹介：県内26支部
- ☆ 資料集
- ☆ 編集委員会の記録
- ☆ 編集後記

## II 地方支部活動の紹介より

船橋市支部  
 明治五年、本学部の源、印旛官員共立学舎が生まれ、同じ年の十一月、船橋小学校が誕生した。昭和十二年には、船橋市が市制施行した。現在、人口は六十四万人で、小・中・高・特別支援学校合わせて八十四校を設置し、中核市までに発展してきた。  
 第二次大戦後、同窓の先輩有志が船橋小学校に事務局を置いて船橋市支部を発足させた。爾来五十有余年、支部活動は連綿と受け継がれ今日に至っている。現在、本支部の会員数は、現役約三五〇名、OB約二〇〇名で、毎年、異動に伴う会員の動向の把握に務め、名簿作成をしている。・・・

印旛地方支部  
 印旛地方支部は、佐倉市、成田市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町、栄町の七市二町からなる支部である。会員数は、退職者一五〇名、現職者三四〇名、計五八〇名を数える大きな支部である。前支部長の葛西広子氏をはじめ役員と理事の尽力により、平成二十八年に会則が作られ、同年六月二十五日に初めて行われた印旛地方支部総会を経て、本支部の組織が確立された。さらに、前事務局長飯塚徳政氏を中心に会員名簿も整備された。・・・



## III 所感より

会報編集委員会の発足  
 初代会報編集長  
 (H16年～19年) 根土只谷常雄  
 「同窓会の充実発展の原動力は同窓会報にあり」と強調された第九代岡田勝太郎会長の説を実現するため、当時の石毛正夫副会長を陣頭に、平成十六年六月の理事会後、玉木貞子常任理事、白石靖理事、松崎清事務局長と筆者（監事）たちが招集され、テーマを同窓会報に絞った協議が行われた。そして、その時のメンバーがそっくり編集委員に切り替わり、同窓・・・



初代会報編集長

創立百五十周年に当たって  
 第九代同窓会会長  
 (2017年～20年) 山中齊  
 二〇二二年、この千葉大学教育学部は創立百五十周年を迎える。何とも誇らしいことである。ここで学んだ者として、心から百五十周年をお祝いしたい。  
 教育学部同窓会は、先輩の大変なお骨折りで、戦後間もない一九四七年に発足している。したがって、この年二〇二二年には、設立七十五周年という節目の年に巡り会えるとは、何ともありがたいことで、個の幸運に感謝したい。・・・



第九代同窓会会長